

目工組通信

第25回

目工組を構成する組合員、すなわちパチンコメーカーは現在36社あり、各パチンコメーカーには、伝統に裏付けされた特徴がある。そしてそのメーカーごとの特徴を知ってパチンコを打てば、パチンコはさらに楽しめる。シリーズ3回目は、ニューギン、大一、高尾の3メーカーの「素顔」を紹介する。



あのメーカーのそこが知りたい!

今まで紹介したメーカーと登場したイメージキャラクター

ソフィア 平和 SANKYO
京楽産業 藤商事 三洋物産
ニューギン 高尾 大一商会

ニューギン

Newgin co.,ltd Since 1968

プレミアム柄「虎柄」

プレミアム柄は「虎柄」。慶次の名言「虎はなにゆえ強いと思う? もともと強いからよ」からプレミアム柄として採用された、という説も。



イメージキャラクター「ずもちゃん」

代表作「ミルクキーパー」に主人公の女の子として登場し、人気を集めた。「ミルクキーパー」シリーズだけでなく、CR超海などにも登場する

代表機種

| | |
|-----------------|-------|
| エキサイトジャック | 1993年 |
| ミルクキーパー | 1995年 |
| CR花の慶次 ~雲のかなたに~ | 2007年 |
| CR009 RE:CYBORG | 2014年 |

「3回権利物」の頂点に君臨していた。この他にも、カーニバル、カルメン、キューティーパーニー等、数々の名



ト。戦国時代には、古くからのファンには「ニューギン」といって呼ばれていたが、その最高傑作名を馳せていたが、その最高傑作も、まさか「エキサイトジャック」(1993年)だ。個性的な世界で自演と大当り後に続く期待感が人気を集め、販売台数は約16万台に達した。また、「ニューギン」といって呼ばれる「ミルクキーパー」(1995年)は、当時ひとつのジャンルとして確立されていた「3回権利物」の頂点に君臨していた。この他にも、カーニバル、カルメン、キューティーパーニー等、数々の名作を生み出した。ドラム、ドット、あるいはベルトなどの表示方式を得意としていたが、21世紀に入り液晶マシンが全盛になってからは液晶機でもヒット作を連発。ゴジラ、西部警察、サイボーグ009、デビルマン、郷ひろみ、信長の野望、コブラなどのタイアップ機はいずれもシリーズ化されている。浮き沈みの激しいパチンコ業界にあって、常にヒットメーカーとして続けられるのは、常にファン視線を第一に考えた機種開発を行っているからだ。時代に応じてファンのニーズ(時間効率や使用金額)を分析し、ストレスを感じないマシンを提供している。

2001年に発売された「CR天才オバカボン」は販売台数20万台以上の驚異的ヒット機種となった。ステップアップ予告、激アツキャラ(白ウナギイヌ)など、今でも多くの機種で標準となっている演出をいち早く搭載していたのだから、人気が出たのも当然かもしれない。

翌年には、歌パチの先駆けとして登場した「CRピンクレディー」が約12万台の大ヒット。ピンク・レディー本人の協力を仰ぎ、振り付けを完全に再現。曲や図柄の動きを、キャラクターの振り付けをシンクロさせることに成功した。

その後も大一商会の快進撃は続く。羽根物にも激アツ演出を、このコンセプトで羽根物に初めて「SPルーツ」を搭載した「CRレレレにおまかせ!」(2004年)、

「CR中森明菜」(2006年)など大ヒット。これら大一商会のヒット機種に共通するのは、開発者の努力と発想力と、食欲さ、211変化すること、どれも「史上初」の性能とを良くし、流動的な演出やアイデアが盛業界環境に適応するための協力を仰ぎ、振り付けを完全に再現。曲や図柄の動きを、キャラクターの振り付けをシンクロさせることに成功した。

その後も大一商会の快進撃は続く。羽根物にも激アツ演出を、このコンセプトで羽根物に初めて「SPルーツ」を搭載した「CRレレレにおまかせ!」(2004年)、

大一商会

Daiichi Shokai Co.,Ltd Since 1968

代表機種

| | |
|-------------|-------|
| CR天才オバカボン | 2001年 |
| CRピンクレディー | 2002年 |
| CRレレレにおまかせ! | 2004年 |
| CR中森明菜 | 2006年 |
| CR哲也 | 2009年 |

イメージキャラクター「ダイナマイト」と「ダイナマイ娘」

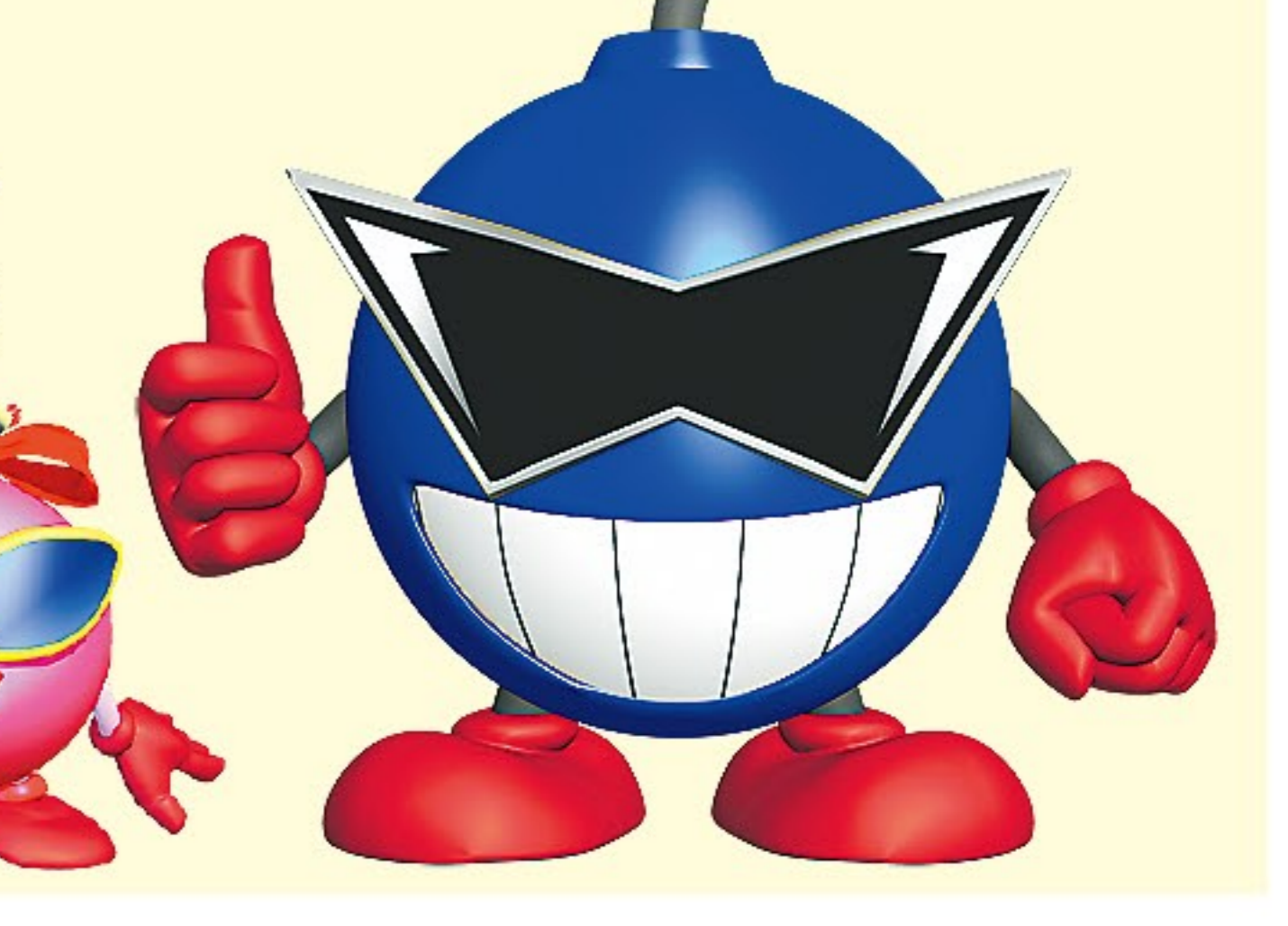
イメージキャラクターは「ダイナマイト」と「ダイナマイ娘」。1990年代の機種「CRダイナマイト」キャラクターで、一番プレイヤーの記憶に残っているキャラクターだろう。



大チャンス柄「パチパチ柄」



大チャンス柄は「パチパチ柄」。「刺激的」「尖ってる」という開発のありたいイメージが形となって、それに目立つカラーリングを施したデザインだ。



高尾

Takao co.,ltd Since 1979

大チャンス柄「キレパンダ柄」

大チャンス柄は「キレパンダ柄」。高尾のマスコットの存在であるキレパンダの体の模様をモチーフにしている。



イメージキャラクター「キレパンダ」

イメージキャラクターは「キレパンダ」。「CRメタルショック」に、原型と思われるパンダが初登場。より親しみやすいデザイン変更やキャラクター性が出来上がっていき、現在のキレパンダに至る。最近ではグッズ製作や、ゆるキャラグランプリ参戦など、活躍の場所も増えてきている。

代表機種

| | |
|--------------|------|
| CR 弾球黙示録カイジ | 2007 |
| CR ベノムの逆襲 | 2009 |
| CR 一騎当千SS | 2010 |
| CR クイーンズブレイド | 2012 |
| CR DD北斗の拳 | 2016 |



「CR中森明菜」(2006年)など大ヒット。これら大一商会のヒット機種に共通するのは、開発者の努力と発想力と、食欲さ、211変化すること、どれも「史上初」の性能とを良くし、流動的な演出やアイデアが盛業界環境に適応するための協力を仰ぎ、振り付けを完全に再現。曲や図柄の動きを、キャラクターの振り付けをシンクロさせることに成功した。

か。パチンコとは、台とプレイヤーとの真剣勝負。そういう意味ではカインズはパチンコにぴったりのコンテンツだ。パチンコは大衆娯楽であり、大人がストレスを発散できる遊び、と考える高尾の開発方針との相乗効果で「ホールにカインズがないと物足りない」とまで感じる人気タイトルのひとつに成長した。

昨年からは「NEXT STAGE」も高尾の機種だ。これもねと多種多様だ。セクシーなキャラと演出、そして同社の看板タイトル「カインズ」シリーズが特徴であり、「高尾イトル」が「カインズ」シリーズ「カインズ」と認識するのを忘れてはいけない。た「CR弾球黙示録カイジ」(2007年)は原作が持つダイナミックな世界観を、パチンコで再現し、人々を魅了する魅力がある。パチンコが人々の明日への活力になれば、それがパチンコ業界にできる社会貢献ではないだろうか。そんな想いを実現すべく、高尾はパチンコを作り続ける。

次回掲載は12月29日です
過去の掲載はこちらで読めます
<http://www.nikkoso.jp>